

令和元年度

事業報告書

社会福祉法人 南 幌 苑
障がい者支援施設 南幌めぐみ学園
共同生活援助 ハイツ ひまわり

— 目 次 —

- ・ 社会福祉法人南幌苑本部 P 1 ~ 8
- ・ 南幌めぐみ学園 P 9 ~ 12
- ・ GHハイツひまわり P13 ~ 15
- ・ 関係資料 P16 ~ 35

1. 法人の事業運営

当法人は平成 30 年度、創立 30 周年を経過し、30 周年記念事業の一環である「地域生活支援センターかよえ〜る」、「わんだフル CAFE MEGUMI」の移転新築工事を終了し、就労事業移転し新規事業を開始している。

令和元年度においては、「旧かよえ〜る」の跡地を緑地帯、車庫として環境整備を行い、就労事業の拡充、また、福祉の店を含めた「わんだフル CAFE MEGUMI」の喫茶コーナーに新たに軽食メニューも追加して地域貢献の一環として併設のドッグラン設備を無料開放し、町内に限らず札幌近郊、町外遠方からも多く 270 名以上の方が会員登録され利用されている。また、地域住民の方々が気軽に利用でき、利用者の方々と地域との関わりや地域住民の方々への理解と啓発を相互扶助としての機能を持ち、生活環境・利用環境の向上を目指す事業を展開した。

法人役員体制においては、6 月に法改正後 2 回目の役員改選が終了し、2 年前の法改正後、他法人も経験豊富な総合施設長が理事長に就任し施設長兼務が多くなっており、当法人も総合施設長が理事長に就任となった。新体制により利用者支援の充実のため、職員と共に「虐待」、「危機管理」についての施設内研修開催、施設外の役員研修に参加して、更なる認識を深めた。

令和元年度においても 10 月から消費税率引き上げに伴い、報酬単価一部改正があり、税率引上げに伴う報酬補填（平均+0.44%補填）と「新しい経済政策パッケージ」に基づく処遇改善として介護人材確保のための取組をより一層進めるため、経験技能のある職員に重点化を図りながら、福祉職員の更なる処遇改善を図った。

施設整備としては、自然災害対策として非常用自家発電設備の整備を国庫補助申請により整備し、利用者が非常時の際にも安心して生活でき、また、地域の障がい者、ご家族の受け入れをできるように南幌町と福祉避難場所指定についても協議をしている。

令和 2 年に入り、新型コロナウイルス感染拡大が世界的に猛威を振るい、国内、道内においても医療機関、福祉施設における院内感染が多く報道され、当法人各事業においても感染予防の概念から、施設内に感染症を「持ち込まない」ことに重視し、職員の出勤時健康チェック、外出・外泊・面会の自粛について、利用者保護者に文書等で協力を要請し、施設内における感染予防に徹底した。

今後も、法人として住民の方々や関係者等の多様な主体が地域において生活上の課題受け止めながらつながり、地域を共に創るための政策を推進し「地域共生社会」の実現に向け、確実な事業展開を行い、より一層良い環境づくりに努める。

・重点事業実施状況

1) 役員研修

○法人役員研修

- ・平成31年4月20日 役員・職員合同研修会
講演「知的障がい者福祉の歴史と現状」
講師 北海道知的障がい福祉協会権利擁護委員
白戸 浩雅 氏
地域交流ホール 役員・職員全員
- ・令和元年7月27日 役員・職員合同研修会
講演「危機管理マネジメント」
講師 北海道保険補償 代表取締役 石山 忠氏
地域交流ホール 役員・職員全員
- ・令和元年12月10日 法人役員・施設長専門研修
札幌市 役員5名

2) 職員研修

○施設内研修

- ・令和元年5月18日 福祉有償運送講習会
かよえーる地域交流ホール 職員5名
- ・令和元年7月3日 救急救命講習
講師 南幌消防署員2名 地域交流ホール 職員全員
- ・令和元年10月1～4日 感染症予防実技研修会（演習）
食堂 職員全員

○施設外研修

北海道社会福祉協議会や道内外の知的障がい関係団体が開催する研修会等に参加し、職員の資質向上に努めた。

3) 規程等の制定・改正

- ・就業規則 … 平成31年4月一部改正
- ・給与規程 … 平成31年4月一部改正
- ・各事業運営程 … 平成31年4月一部改正

4) 大規模修繕・施設整備関係

- ・めぐみ学園 めぐみ学園 ボイラー真空ヒーター部品交換
- ・めぐみ学園 会議室パネルヒーター取替工事
- ・めぐみ学園 発電機まわり舗装工事

6) 補助事業

- ・国庫補助事業
南幌めぐみ学園発電機設備工事
令和2年2月28日事業完了

7) 地域における社会貢献の取り組み

- ・職員、利用者による学園周辺、地域周辺の道路清掃
- ・職員、利用者による高齢者世帯の除雪
- ・南幌町や高齢者施設への干支のウッドパズル等の寄贈
- ・学園祭やスポーツ大会の開催と併せて施設の開放を積極的に実施
- ・幼稚園・保育所に自作手袋の提供
- ・公益財団法人日本財団が運営する自動販売機「夢の貯金箱」による社会貢献事業
- ・ドッグラン設備の地域無料開放

・実施事業

○障がい者支援施設南幌めぐみ学園

定員	施設入所支援事業	50名	(現員50名)
	生活介護支援事業	60名	(現員56名)
	就労継続支援B型	10名	(現員5名)

○短期入所事業(併設) 定員 5名

○共同生活援助事業所 ハイッひまわり

定員 4名

○日中一時支援事業 定員 5名

2. 理事会・評議員会の開催及び監査の実施状況

令和元年度においては理事会 7回、評議員会を 1回開催し、監事による実施監査を 4回受けた。

1) 理事会

開催年月日	会 議 内 容
令和元年 5月16日	<p>第193回理事会</p> <p>1. 議事</p> <p>議案第1号 平成30年度法人及び施設の事業報告について</p> <p>議案第2号 平成30年度社会福祉事業会計の収支決算報告について</p> <p>議案第3号 社会福祉法人南幌苑 役員（理事・監事）の選任について</p> <p>議案第4号 社会福祉法人南幌苑 就業規則の一部改正（案）について</p> <p>議案第5号 社会福祉法人南幌苑 旅費規程の一部改正（案）について</p> <p>議案第6号 社会福祉充実計画の終了について</p> <p>2. 報告事項</p> <p>1) 平成30年度第4回（決算）内部監査結果報告について</p> <p>2) 2019年度共同募金「施設活動支援事業」申請結果について</p> <p>3) 平成30年度社会福祉施設に係る指導監査の結果について（通知）</p> <p>4) 職員の退職について</p> <p>3. その他</p> <p>1) 今後の理事会、評議員会の開催予定について</p>
6月4日	<p>第194回理事会</p> <p>1. 報告事項</p> <p>1) 社会福祉法人南幌苑 役員（理事・監事）の選任について</p> <p>2. 議事</p> <p>議案第1号 社会福祉法人南幌苑 理事長の選任について</p> <p>議案第2号 社会福祉法人南幌苑 常務理事の選任について</p> <p>議案第3号 社会福祉法人南幌苑 相談役の選任について</p> <p>3. その他</p> <p>1) 今後の理事会の開催日程について</p>

開催年月日	会 議 内 容
令和元年 7月30日	<p>第195回理事会</p> <p>1. 議事</p> <p>議案第1号 南幌めぐみ学園国庫補助事業発電機設備工事について</p> <p>2. 報告事項</p> <p>1) 理事長変更届の受理について</p> <p>2) 承認社会福祉充実計画終了承認について</p> <p>3. その他</p> <p>1) 今後の理事会の開催日程について</p>
9月6日	<p>第196回理事会</p> <p>1. 議事</p> <p>議案第1号 「南幌めぐみ学園発電機設備工事」業者選定入札結果について</p> <p>2. 報告事項</p> <p>1) 令和元年度第1回(6月末)内部監査結果報告について</p> <p>2) 令和元年度(2019年度)障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に係る実地指導の結果について</p> <p>3. その他</p> <p>1) 今後の理事会の開催予定について</p>
12月19日	<p>第197回理事会</p> <p>1. 議事</p> <p>議案第1号 南幌めぐみ学園発電機設備工事進捗報告について</p> <p>議案第2号 令和元年度社会福祉事業会計補正予算書(案)について</p> <p>議案第3号 社会福祉法人南幌苑 評議員の辞任について</p> <p>2. 報告事項</p> <p>1) 令和元年度第2回(9月末)内部監査結果報告について</p> <p>2) 職員採用試験の選考結果について</p> <p>3. その他</p> <p>1) 今後の理事会の開催予定について</p>

開催年月日	会議内容
令和2年 2月19日	<p>第198回理事会</p> <p>1. 議事</p> <p>議案第1号 社会福祉法人南幌苑 評議員候補者の推薦（案）について</p> <p>2. 報告事項</p> <p>1) 令和元年度第3回（12月末）内部監査結果報告について</p> <p>3. その他</p> <p>1) 今後の理事会の開催日程について</p>
3月18日 （書面開催）	<p>第199回理事会</p> <p>1. 議事</p> <p>議案第1号 令和元年度社会福祉事業会計補正収支予算（案）について</p> <p>議案第2号 令和2年度社会福祉法人南幌苑事業計画（案）について</p> <p>議案第3号 令和2年度社会福祉事業会計収支予算（案）について</p> <p>議案第4号 社会福祉法人南幌苑福祉サービス相談委員及び虐待防止委員の任期満了に伴う委員の選任について</p> <p>議案第5号 社会福祉法人南幌苑 就業規則の一部改正（案）について</p> <p>議案第6号 社会福祉法人南幌苑 事業別運営規程の一部改正（案）について</p> <p>議案第7号 ドッグラン延伸工事について</p> <p>議案第8号 職員採用及び人事について</p> <p>議案第9号 永年勤続職員の表彰について</p> <p>2. その他</p> <p>1) 今後の理事会・評議員会の開催予定について</p>

2) 評議員会

開催年月日	会 議 内 容
令和元年 6月4日	第46回評議員会 1. 議事 議案第1号 平成30年度法人及び施設の事業報告について 議案第2号 平成30年度社会福祉事業会計の収支決算報告について 議案第3号 社会福祉法人南幌苑 役員（理事・監事）の選任について 議案第4号 社会福祉充実計画の終了について 2. 報告事項 1) 平成30年度第4回（決算）内部監査結果報告について 3. その他 1) 次期評議員会の開催日程について

3) 監事監査

開催年月日	会 議 内 容
令和元年 5月14日	平成30年度第4回内部監査（決算）
7月30日	令和元年度第1回内部監査（6月末）
10月23日	令和元年度第2回内部監査（9月末）
令和2年 1月27日	令和元年度第3回内部監査（12月末）

4) 評議員選任解任委員会

- ・（第4回）令和2年2月20日開催（1名補充選任）

5) 空知総合振興局による指導監査

1. 実地指導 令和元年7月31日(水) 9:30~16:00
 - ・ 監査対象 障がい者支援施設南幌めぐみ学園
施設入所・生活介護
 - ・ 監査担当者 保健環境部社会福祉課
事業指導係長 神田 隆之
主任 伊藤 文子
主事 三木 麻莉子
 - ・ 審査結果 令和元年8月30日通知 文書指導2件

2. 実地指導 令和元年12月18日(水) 9:30~12:00
 - ・ 監査対象 社会福祉法人南幌苑(法人)
 - ・ 監査担当者 保健環境部社会福祉課
主幹 工藤 敏司
事業指導係長 神田 隆之
 - ・ 監査結果 令和元年12月23日通知 指摘事項無し

令和元年度 南幌めぐみ学園事業報告

I 概況

1. 運営概況

1) 運営全般

在宅生活からの移行者や養護学校卒業生を含めて新規入所者が5名であり、ご家族の都合による退所者が3名であった。また、日中活動では、なんぼろ地域生活支援センター「かよえーる」の新設後、広々とした空間のもとで、利用者個々に合った活動を行い、施設から毎朝活動へ出かける習慣が身に付き安定した日々を送れることが出来た。わんだフルCAFÉ MEGUMIの営業も順調に経過し、町内外の方々が多く利用される毎日となった。さらに、利用者への質の高いサービスの提供を目指し、強度行動障がい支援者養成研修に参加し専門性を身に付け、利用者の支援に生かすことが出来た。行事関連においては、利用者やご家族・地域ボランティアの参加とご協力を得て、スポーツ大会・学園祭等の行事を実施した。

また、道外宿泊旅行は、富士、箱根方面へ行き総数17名が参加、さらに道内宿泊研修旅行は洞爺湖温泉に宿泊、総数84名が参加された。その他各行事への多くの参加を通して相互に意見・情報交換することが出来た。

2) 利用者の動向

①利用者の概況 ※ 資料「利用者の状況」参照

II 利用者支援

1. 障がい者支援サービス

1) 施設入所・通所支援

日中活動としては、新設したかよえーるへ毎朝通い、それぞれに合った活動を広い空間で行い安定した毎日を送ることが出来た。

施設内では、浴室脱衣室のカーテン設置工事を行いプライバシーが保てるスペースを確保し、より安心した環境づくりを行った。

利用者個々の支援についても個別支援計画にそって定期的にモニタリングを行い、共通認識のもとその時々状況に合わせた支援を行った。

2) 日中活動支援

生活介護支援事業は、高齢化・重度化の流れの中で自閉症・自閉傾向の障がいの重い人や強度行動障がい（パニック等）・身体障がいとの重複障がいにおいて、リハビリ訓練やストレッチ、ウォーキングなど身体機能維持・体力増進に向けて行ってきた。

生活訓練科は創作活動で和紙工芸や縫製品の制作及び、軍手制作に取り組み、南幌町内外のイベント、福祉の店・元気ショップいこ〜る（札幌駅・大通り）にて販売し、絵画や貼り絵等の作品は展示会に出展した。日常生活に必要な訓練・支援（歯磨き・ひげそり・整容・洗濯・整理整頓等）を個別に取り組んできた。

紙器加工科は通年で下請け業者（ポロトナ、北辰フーズ、山東印刷）からの箱折り各種・菓子詰めなどの委託作業を行ない継続してきた。また広教資材（町内）からの下請

け作業なども行った。

作業訓練科は前期に畑作業（ミニトマト）と環境整備、また、町からの委託作業のペットボトルのキャップ回収などに取り組んできた。収穫した農産物は、食事の中で提供したり、町内のイベントにて販売した。

3) 就労継続支援

就労継続支援B型事業は、継続して以前からの長期実習先であるスリービーに2名が自立生活を目指して実習に取り組んだ。

セブンイレブンのごみ分別委託作業には、女子1名が取り組んだが、身体的な理由から11月に終了した。

菓子工房もぐもぐは2名が手作りクッキーなどの焼き菓子づくりとコーヒーの宅配サービスを行った。手作りクッキーは南幌町観光協会、江別イオンときめいく、セブンイレブン、南幌温泉、JR北広島駅、札幌元気ショップいこーるにて販売された。

4) 余暇支援

余暇活動では利用者の年齢や身体状況・嗜好やニーズを十分考慮し、南幌町内のイベントや近隣の他施設の行事や催事などに積極的に参加した。

またスポーツ大会では保護者ご家族との交流だけでなく、地域の方々・ボランティアの方々との交流を深めることが出来た。

園内では、焼肉パーティー・餅つき・忘年会・新年会・節分などの季節の行事を行ない、土日には地域交流ホールでゲーム、カラオケなどを楽しんだり、散歩に出掛けたりした。

道外宿泊旅行は富士・箱根方面へ利用者7名、ご家族5名、職員5名、計17名が参加し、さらに道内宿泊研修旅行では洞爺湖温泉に宿泊、利用者42名・ご家族23名・職員19名の84名が参加した。

スポーツ活動では、南幌町福祉スポーツ大会に参加し・パークゴルフ等の種目で空知知的障がい福祉協会の大会に参加した。また札幌ドームでのティーボール大会では、ご利用者10名、家族8名が応援に駆け付け競技に参加し、応援大賞を受賞した。

5) 苦情解決

利用者からの苦情は常設の投書箱にて随時受け付けると共に、日常的にも個々の利用者の訴えをよく聞き、その悩みや相談、抱えている問題に関し職員が共に認識をもつよう努めた。

職員には「人権侵害ゼロへの誓い」署名を実施し、虐待防止や権利擁護について、研修会を開催したり、各種会議でも繰り返し周知徹底を図った。

6) 保健衛生・医療

年2回の健康診断および毎月の身体測定・歯科訪問診療・皮膚科往診、日常の健康管理に関しては町立南幌病院や北広島メンタルクリニック主治医（穴澤医師）による問診のほか、看護師が体調確認を行った。毎月の身体・血圧測定のほか医師の指示等で定期的なバイタルの測定や排泄確認が必要な方は個々に記録を報告した。

今年度もインフルエンザ予防接種を全員が受け、重篤化しないための感染予防に努め

た。3名がインフルエンザ発症したが回復され入院者は出なかった。また、園内の清掃消毒、手洗いの励行など予防対策を強化した。ノロウイルス等の食中毒に備えて嘔吐物の緊急処理用具を園内2か所に設置し、嘔吐時の処理の手順を学ぶ講習会を職員全員で実施した。毎月の生活懇談会で利用者に医療の指導を行い、病気や健康への配慮を促した。

2月より新型コロナウイルス感染が全世界的に広がり、学園でも館内や手指の消毒、利用者には、朝・昼・夕の検温、職員は出勤時の検温とマスク着用、居室の換気を行いながら予防を徹底し、新型コロナウイルス感染者はでていない。

7) リスクマネジメント

利用者の事故については、転倒及び骨折。転倒事故の要因としては年齢や歩行機能低下によるものである。利用者同士のトラブルについては、情緒障がいの行動上の特徴である他者への攻撃性に起因するものでありご家族や医師と相談のうえ対応している。令和元年度ヒヤリハット事例は28件あり、原因を都度分析し予防策や未然に防ぐための会議を行った。

(令和元年度の空知総合振興局・南幌町への事故報告は 5件)

8) 栄養管理・給食

食生活は、健康の保持増進と精神的安定を図るため、適切な食事摂取基準を満たした季節感のあるバランスのよい食事を提供した。

毎年1回の利用者嗜好調査(アンケート)のほか、月例の給食会議の中で利用者・職員から給食に関する意見や要望を聞き、食事満足度の向上のために検食簿などを参考にしながら給食内容の改善に努めた。健康診断・身体計測の結果から、利用者の心身の状況に関する情報を看護師・支援員と共有し、療養食や嚥下に配慮するなど適切に提供し毎月の生活懇談会で利用者に栄養指導を行った。毎月の誕生膳や季節ごとの行事食の他、忘年会に生寿司が提供され大変好評となった。また、選択メニュー(複数献立)や、利用者の目の前で調理を行うライブキッチンなど積極的に行った。

9) 環境整備

利用者が日々快適で安全な生活を送ることが出来るように、修繕や前庭等の整備と居住環境及び周辺的生活環境の整備に努めた。

10) 防災

防災に関しては、「防災計画」に基づいて毎月1回の避難訓練と利用者と共に防災点検を実施した。5月に南幌消防署員立ち会いで総合避難訓練を実施し、風水害・地震・夜間及び、不審者侵入を想定した訓練にも取り組んだ。7月には救命救急講習を行い緊急時対応に備えた。

2. 対外業務

1) 福祉実習生及びボランティアの受け入れ

福祉の専門職として知識や経験を社会へ還元することを目的とし、福祉分野の実習生を積極的に受け入れ、次代を担う人材の育成に寄与した。

ボランティアに関しては、定期的訪問・学園行事等を通じて、地域のボランティア団体、個人の学生ボランティア等の受け入れを継続して行ってきた。

- 福祉実習生受け入れ 北海道介護福祉学校 3名
南幌中学校職場体験 4名
- ボランティア受け入れ 延べ人数85名

2) 養護学校実習の受け入れ

学校関係者と連携し、養護学校中学部・高等養護学校の現場実習を受け入れた。

- 現場実習生受け入れ 南幌養護学校中学部2年 4名
美唄高等養護学校中学部3年 1名

3) 広報活動

学園の広報誌「南幌めぐみ学園だより」は9月・1月の年2回発行し、町内の地域住民には新聞折り込みにて配布、町外の利用者ご家族や関係機関にも郵送している。

「学園の近況について」を保護者に発送し、学園の取り組み状況のお知らせを行った。

3. 管理業務関連

1) 職員研修

障害者総合支援法関係の研修会や行政説明に役職員が参加し、情報収集に努めた。その他、職員の経験年数や職務内容を考慮し、北海道社会福祉協議会や道内外の知的障がい関係団体が開催する研修会や支援の実践に関する研修に参加し、援助技術や知識の習得と情報の収集に努めた。

※資料「事業実施経過」参照

2) 年間行事

概ね例年通りの日程内容で行事を実施した。

※資料「事業実施経過」参照

III その他の事業報告

1. 短期入所事業・日中一時支援事業

1) 概況

短期入所事業の利用者については、前年に引き続き個々の体力、能力等を勘案し個別支援計画に基づき、施設利用者の日課等に合わせて支援を行い、在宅の知的障がい児・者の地域生活を支えるサービスとして、短期入所事業と日中一時支援事業を継続して行った。

2) 利用状況

新規短期入所利用は施設入所希望者の体験利用を行い、その後の入所に繋がった。

日中一時支援利用については児童の低年齢化・障がいの重度化などによりマンツーマン対応による支援を行ってきた。

コロナウイルス感染症の影響で学校休校に伴い、ご家族の要望に対応して利用が多い状況となった。

※資料「短期入所・日中一時支援利用状況表」参照

令和元年度 GHハイツひまわり 事業報告

ハイツひまわりでは、3名の女性利用者が生活しており、健康で明るく安心・安全に今までの生活史の延長が送れるように個々に対応しながら適切な支援を目指した。また、町内行事にも積極的に参加しながら町内の方々と交流を図ることが出来た。

○生活支援

1. 食事

食事は個々の健康を考えながら、時々体調に合わせた手作りを大切にされた。適温適時の提供、楽しみとなるよう季節に合わせた行事食、誕生日にはお好みのメニュー、夏場には畑で収穫した新鮮野菜を使い食事の献立に取り入れた。土日には食事当番を決めて、各自でメニューを決めて調理をし、手作り調理を仲間が美味しいと食べてもらうことに喜びを感じた。

2. 清掃

自室の清掃は、基本的に毎日行ない、出来る部分は自分で行いながら清潔を心掛けた。年に2回大掃除を行い、家具の設置場所を換えて部屋を使いやすいようにしたり、季節の衣替えなど整理整頓をして、快適な空間で過ごせるように支援している。共有部分の掃除は消毒を細めに行い、感染予防に努めた。

3. 対人関係

生活のルールを守るようにしてほしい、人に頼みごとをするなど不満が聞かれることがあったが、その都度みんなの意見を聞き、早期に解決にできるように話し合いをした。

皆で楽しめるように町内の飲食店やカフェなどに出掛けたり、誕生会、クリスマス会などを企画し親睦を深めた。

4. 健康管理

日頃より世話人がバイタルチェック、利用者の表情等に気をつけ体調管理をしっかりと行うよう努めた。足腰の痛みや怪我をすることもあり、医療と連携して通院等の支援、通所利用も送迎サービスを利用した。

外出後は必ず手洗いうがいを行い外部から病気を持ち込まないよう働きかけ、インフルエンザが町内で流行していた場合には、外出を控えて予防に努めた。

今年度も、管理栄養士から嗜好品についての話しがあり再度食生活の見直しが出来るきっかけとなった。次年度も健康教育を組み込んで行く。

○個別支援計画

利用者の希望する生活の実現に向けて、意向を確認しながら個別支援計画の作成を行ない、本人の承諾を得た後に、その計画に沿って福祉サービスの提供を実施している。定期的にモニタリングをしてサービスの見直しを行った。

○地域生活支援

近隣の方々と挨拶を交わしながら、町内会の花壇整備やゴミ拾いなどに積極的に参加し町内会のお祭りも楽しんだ。南幌町の行事の祭りやバンドコンサートにも出掛けて地域の方々と交流し、余暇日には図書館で本を借りたり外食や買い物にも行かれた。

○避難訓練

4回の避難訓練（地震想定を含め風水害、夜間時、大雪）を行い消防署への通報訓練と避難場所の再確認をしている。

1. 職員体制

管理者 1名（兼務） サービス管理責任者 1名（兼務）
世話人 1名（専任） 生活支援員 3名（兼務）
※ その他、バックアップ施設職員にて、随時支援を行った。

2. バックアップ施設

障がい者支援施設南幌めぐみ学園

3. 利用者（定員4名）

令和2年3月31日

氏名	市町村	性別	年齢	区分
Aさん	岩見沢市	女	53歳	3
Bさん	当麻町	女	51歳	2
Cさん	小樽市	女	50歳	4

4. 行事实施状況

開催年月日	主たる事業の内容
平成31年 4月 2日	定期健康診断
令和元年 5月 25日	町内会花壇花植え 3名参加
6月 18日	花見 焼き肉 （めぐみ学園前庭にて）
7月 8日 ～10日	道外宿泊研修旅行 富士・箱根方面 2名参加
12日	避難誘導訓練（地震・火災想定）
14日	スポーツ大会 （めぐみ学園前庭にて）
8月 25日	空知知的障がい福祉協会パークゴルフ大会 2名参加
9月 7日	町内会 花壇草取り 3名参加
9日 ～10日	道内宿泊研修旅行 洞爺湖方面 3名参加
20日	避難誘導訓練（夜間・火災想定）
29日	めぐみ学園 学園祭

開催年月日	主たる事業の内容
11月 5日	定期健康診断
12月 1日	ティーボール北の甲子園大会（札幌ドーム）
	忘年会（めぐみ学園にて）
令和2年 1月 17日	新年会（めぐみ学園にて）
2月 14日	栄養指導
	避難誘導訓練（夜間地震・火災）
3月 17日	避難誘導訓練（風水害・大雪）

資 料

1. 事業実施経過
2. 職員の配置
3. 利用者の状況
 - (1) 月別在籍者状況
 - (2) 入退所者状況
 - (3) 利用者年齢調
 - (4) 利用期間調
 - (5) 利用者出身市町村調
 - (6) 障害状況
 - (7) 面会状況
 - (8) 外出状況
 - (9) 外泊状況
4. 短期入所・日中一時支援
 - (1) 短期入所利用状況
 - (2) 日中一時支援利用状況
 - (3) 短期入所・日中一時支援利用者市町村調

1. 事業実施経過

開催年月日	主たる事業の内容
平成31年 4月	
1日	開園記念日 辞令交付
2日	定期健康診断 利用者・職員
26日	空知知的障がい福祉協会理事会・総会 岩見沢市 総合施設長
令和元年 5月	
2日	日帰り社会学習 北海道グリーンランド 岩見沢市 利用者28名 職員15名
6日	めぐみ会総会 地域交流ホール 家族24名 職員2名
8日	地域貢献事業 環境整備 かよえ～る周辺、南13線セブンイレブン前から 西8号信号まで
10日	NPO法人北海道ソーシャルワーカー協会理事会・総会 札幌市 総合施設長
18日	福祉有償運送講習会 職員5名 かよえ～る地域交流ホール
22日	北海道知的障がい福祉協会会長表彰 総合活動者 札幌市 竹本邦男さん78歳 引率職員1名

開催年月日	主たる事業の内容
令和元年 5月 22～23日 23日 23～24日 27日 6月 1日 8日 11～12日 18日 29日 30日 7月 3日 3日	北海道知的障がい福祉協会総会・全道施設長セミナー 札幌市 総合施設長 新入社員研修 岩見沢市 職員2名 行動援護従事者研修 札幌市 職員1名 施設職員スキルアップ講座 札幌市 職員1名 星の広場落成式 芦別市 常務理事 南幌養護学校運動会 理事長 行動援護従事者研修 札幌市 職員1名 焼肉パーティー めぐみ学園前庭 空知保健医療部会 岩見沢市 職員1名 空知の風地域交流祭 岩見沢市 理事長 救命救急講習 講師 南幌消防署員2名 職員16名 北海道介護福祉学校現場実習3名 7月10日まで

開催年月日	主たる事業の内容
令和元年 7月	<p data-bbox="384 353 1043 394">3日 食品衛生講習 岩見沢市 職員1名</p> <p data-bbox="331 477 1310 517">4～5日 北海道知的障がい関係支援研修 札幌市 職員1名</p> <p data-bbox="312 600 1158 701">8～10日 道外宿泊研修 富士方面 家族5名 利用者7名 職員5名 計17名</p> <p data-bbox="371 784 1177 824">13日 南幌高校学校祭販売 職員2名 利用者2名</p> <p data-bbox="371 907 1385 1008">14日 第32回スポーツ大会 来賓17名 家族99名 ボランティア15名 利用者57名 職員24名 計212名</p> <p data-bbox="371 1090 1142 1131">20日 長沼陽風会納涼夏祭り 長沼町 理事長</p> <p data-bbox="296 1214 1066 1254">21～24日 全国施設長会議 神奈川県 理事長</p> <p data-bbox="371 1337 1445 1619">31日 北海道空知総合振興局 運営指導監査 対象事業（施設入所事業 生活介護事業） 保健福祉部社会福祉課事業指導係 係長 神田 隆之 主任 伊藤 文子 主事 三木 麻莉子</p> <p data-bbox="371 1702 1007 1742">31日 空知知連協 あいくる 職員1名</p> <p data-bbox="256 1765 309 1805">8月</p> <p data-bbox="392 1825 1082 1865">1日 権利擁護セミナー 札幌市 職員1名</p> <p data-bbox="331 1948 1082 1989">1～2日 スキルアップ研修 札幌市 職員1名</p>

開催年月日	主たる事業の内容
令和元年 8月	8日 合同役員会（めぐみ会） 会議室 20日 南幌町福祉スポーツ大会 スポーツセンター 22日 空知知的しょうがい福祉協会 権利擁護事業訪問 オンブズマン2名 権利擁護委員4名 利用者7名 理事長 職員1名 22日 空知知的障がい福祉協会栄養士研修会 雨竜町 職員1名 24日 ひきこもり支援セミナー 札幌市 理事長 25日 空知パークゴルフ大会 美唄市 理事長 利用者9名 職員3名 25日 岩見沢清丘園祭 岩見沢市 理事長 販売 利用者1名 職員2名 26日 北町カフェサロンひまわり わんだフルカフェ22名来店 29～30日 全国グループホーム等施設長会議 千葉県 理事長 9月 1日 みどり苑まつり 理事長 5日 地域貢献 軍手寄贈（町内 保育園、幼稚園） 7日 岩見沢光明舎祭り 岩見沢市 理事長

開催年月日	主たる事業の内容
令和元年 9月	8日 全道パークゴルフ大会 滝川市 職員1名 9～10日 道内宿泊研修旅行 洞爺方面 家族23名 利用者42名 職員19名 計84名 11日 全道グループホーム等スタッフ研修会 札幌市 職員2名 12日 南空知圏域感染症予防研修会 岩見沢市 職員1名 21日 深川あかとき学園祭 深川市 理事長 23日 札幌報恩学園祭 札幌市 理事長 27日 災害対策委員会 札幌市 理事長 職員1名 (研修会受付協力 利用者2名 職員1名) 28日 雪の聖母園祭 月形町 理事長 販売 利用者1名 職員2名 29日 第32回学園祭 地域交流ホール 10月 1～2日 南幌中学校職場体験 2年5名 3～5日 北海道知的障がい福祉協会 みんなあ～と展 5日 えぽフェスタ販売 理事長 利用者2名 職員2名

開催年月日	主たる事業の内容
令和元年	
10月	
8～9日	全道知的障がい関係職員研修大会 札幌市 職員2名
9～10日	強度行動障がい支援者養成研修基礎 札幌市 職員1名
11～12日	強度行動障がい支援者養成研修実践 旭川市 職員3名
13日	ボランティアフェスタ 理事長 販売 利用者2名 職員2名
17日	南幌町教育研究協議会施設見学 12名
17～18日	利用者の工賃向上と就労支援を考える研修会 新ひだか町 理事長 職員1名
21日	福祉施設士会セミナー 札幌市 理事長 職員2名
29日	空知総合振興局集団指導監査 岩見沢市 理事長
11月	
1日	加齢化支援研修会 札幌市 職員2名
2日	札幌療育会50周年記念式典 札幌市 理事長
4日	空知フレンドカレッジ 岩見沢市 職員1名
5日	定期健康診断 地域交流ホール
7日	食品衛生責任者資格養成講習会 岩見沢市 職員1名

開催年月日	主たる事業の内容
令和元年	
11月	
9日	南幌養護学校祭 理事長 販売 利用者2名 職員2名
14日	レッドダウン作戦
18～19日	福祉施設士会研修 東京都 理事長
21日	地域公益活動担当者ステップアップ研修会 札幌市 理事長 職員1名
22日	社会福祉法人向け実務実践セミナー 美唄市 理事長 職員1名
22日	めぐみ会合同情報交換会 二合半 家族6名 職員22名
12月	
1日	ティーボール北の甲子園大会 札幌市 家族16名 利用者10名 理事長 職員5名 計32名
2～3日	旭川各相談支援事業所訪問 理事長 職員1名
4日	もちつき 地域交流ホール
6日	空知知的障がい福祉協会理事会 岩見沢市 理事長
10～11日	全国日中活動支援部会 札幌市 職員2名
12日	南幌町福祉策定委員会 あいくる 理事長

開催年月日	主たる事業の内容
令和元年 12月	
16日	カフェ冬期休業（～2月末）
19日	忘年会 地域交流ホール
令和2年 1月	
1日	初詣 南幌神社 理事長 利用者10名 職員6名 計17名
10日	南幌町新年交礼会 改善センター 理事長
15～16日	幹部職員研修会 札幌市 理事長 職員4名
17日	新年会 地域交流ホール
21日	空知知的障がい福祉協会理事会・総会 砂川市 理事長 職員1名
2月	
1日	厄払い 南幌神社 利用者1名 職員2名
3日	節分 豆まき
6日	南幌町障がい者自立支援協議会 あいくる 職員1名
17～18日	全道施設長研修会・臨時総会 札幌市 理事長
20～21日	サービス管理責任者相談支援従事者研修 札幌市 職員1名
21日	ハーバリューム講習会 南幌町商工会女性部 カフェ

開催年月日	主たる事業の内容
令和2年 2月 27～28日 27～28日 3月 1日 3日 12日 12日	全国社会就労センター長会議 神奈川県 理事長 サービス管理責任者基礎研修 札幌市 職員1名 カフェ営業再開 ひな祭り 屋内レクリエーション 地域交流ホール めぐみ会三役会議
毎月 実施事業	生活懇談会 買物実習 身体測定・血圧測定 北広島メンタルクリニック医師問診 歯科ブラッシング指導 職員会議 給食会議 支援員会議 避難訓練 防災点検 日赤奉仕団・ボランティアとの交流

2. 職員の配置

令和2年3月31日

職名	常勤職員	非常勤職員	計
施設長	1		1
事務員	2		2
サービス管理責任者	3		3
支援員	16	4	20
世話人	1		1
看護師	1		1
栄養士	1		1
医師		1	1
計	25	5	30

3. 利用者の状況

(1) 月別在籍者状況

月別 区分	平成 31年	令和 元年								令和 2年			合 計 (人)	
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
初日 在籍者	入所	50	50	49	49	50	50	49	49	48	49	49	50	592
	通所	12	12	12	11	11	11	11	11	11	11	11	11	135
入所者	入所	2				1					1		1	5
	通所													
退所者	入所			1				1		1				3
	通所	1		1										2

(2) 退所者状況

退所者数	退 所 者 数						
	社 会 復 帰	帰 宅	長 期 入 院	施 設 替 え	死 亡	その他	合 計
入 所		1		2			3
通 所				2			2

(3) 利用者年齢調

令和2年3月31日現在

年齢区分	入 所			通 所			
	男	女	計	男	女	計	
15歳～19歳	1		1				<p style="text-align: center;">入 所 通 所</p> <p>最小年齢 入所 通所</p> <p>男 19歳1ヶ月・31歳4ヶ月</p> <p>女 32歳7ヶ月・31歳0ヶ月</p> <p>最高年齢</p> <p>男 84歳5ヶ月・52歳8ヶ月</p> <p>女 71歳8ヶ月・65歳3ヶ月</p> <p>平均年齢</p> <p>男 47歳8ヶ月・38歳0ヶ月</p> <p>女 52歳7ヶ月・48歳4ヶ月</p> <p>男女平均年齢</p> <p style="text-align: center;">49歳6ヶ月・44歳6ヶ月</p>
20歳～24歳	1		1				
25歳～29歳							
30歳～34歳		3	3	2	2	4	
35歳～39歳	3		3	1		1	
40歳～44歳	6		6				
45歳～49歳	8	5	13		1	1	
50歳～54歳	5	6	11	1	2	3	
55歳～59歳		3	3				
60歳以上	3	6	9		2	2	
計	27	23	50	4	7	11	

(4) 利用期間調

令和2年3月31日現在

期間区分	入 所			通 所		
	男	女	計	男	女	計
1年未満	3	1	4		1	1
1年～2年未満	1		1		1	1
2年～3年未満		1		2		2
3年～4年未満						
4年～5年未満	1		1			
5年～10年未満	3	1	4		3	3
10年以上	19	20	39	2	2	4
合 計	27	23	50	4	7	11
平均利用期間	24年6ヶ月	22年1ヶ月	23年4ヶ月	8年 2ヶ月	9年3ヶ月	9年7ヶ月
最高利用期間	31年11ヶ月	31年11ヶ月	31年11ヶ月	15年11ヶ月	16年8ヶ月	16年8ヶ月

(5) 利用者出身市町村調

令和2年3月31日現在

市 町 村	入 所			通 所		
	男	女	計	男	女	計
札幌市 東区	1	1	2			
札幌市中央区		1	1			
札幌市厚別区	2		2			
札幌市 北区	1		1			
札幌市白石区		1	1			
札幌市清田区	1	1	2			
札幌市豊平区	1		1			
北 広 島 市	2	3	5			
江 別 市	3	6	9	1		1
小 樽 市		2	2		1	1
夕 張 市		1	1			
網 走 市		1	1			
北 見 市		1	1			
岩 見 沢 市	2	1	3		3	3
南 幌 町	8		8	3	1	4
栗 山 町	1	1	2			
長 沼 町	1		1			
由 仁 町					1	1
妹 背 牛 町	1		1			
岩 内 町	1		1			
余 市 町		1	1			
苫 前 町	1		1			
釧 路 町		1	1			
平 取 町		1	1			
当 麻 町					1	1
遠 軽 町	1		1			
計	27	23	50	4	7	11

(6) 障 害 状 況

令和2年3月31日現在

☆ 疾 患 状 況

障 害 疾 患 名	入 所			通 所		
	男	女	計	男	女	計
聴 力 障 害	1		1			
視 力 障 害	2		1			
四 肢 ・ 体 幹 機 能 障 害	1	3	4	1	2	3
言 語 障 害	4	3	7			
て ん か ん	6	6	12	3	2	5
精 神 科 疾 患 ・ 統 合 失 調 症	6	8	14		2	2
高 血 圧	2	2	4	1	1	2
低 血 圧	1		1			
糖 尿 病				1		1
骨 疾 患	1	3	4			
腎 臓 疾 患	2	1	3	1		1
肝 臓 疾 患	2	1	3			
心 臓 疾 患	2		2			
甲 状 腺 疾 患		2	2			
皮 膚 疾 患	12	11	23		2	2
パ ー キ ン ソ ン 症 候 群						
自 閉 症 (傾 向)	12	5	17	4	2	6
ダ ウ ン 症	3	3	6		1	1

☆ 知 能 指 数

知 能 指 数 (程 度)	入 所			通 所		
	男	女	計	男	女	計
測 定 不 能 (全 介 助 を 必 要)	1	1	2	1		1
I Q 3 5 以 下 (常 時 介 助 を 必 要)	21	12	33	2	1	3
I Q 3 6 ~ 4 9 (介 助 指 導 を 必 要)	3	9	12		2	2
I Q 5 0 以 上 (一 部 介 助 指 導 必 要)	2	1	3	1	4	5
計	27	23	50	4	7	11

(7) 面 会 状 況

南幌めぐみ学園

回 数	男	女	合 計
5 回 以 上	0 人	1 人	1 人
4 回	1 人	0 人	1 人
3 回	1 人	0 人	1 人
2 回	1 人	0 人	1 人
1 回	1 人	2 人	3 人
面 会 な し	23 人	20 人	43 人
計	27 人	23 人	50 人

ハイツひまわり

回 数	男	女	合 計
5 回 以 上	0 人	0 人	0 人
4 回	0 人	0 人	0 人
3 回	0 人	0 人	0 人
2 回	0 人	0 人	0 人
1 回	0 人	1 人	1 人
面 会 な し	0 人	2 人	2 人
計	0 人	3 人	3 人

(8) 外出状況

南幌めぐみ学園

回数	男	女	合計
30回以上	1人	0人	1人
20～29回	0人	0人	0人
10～19回	0人	0人	0人
5～9回	0人	0人	0人
1～4回	6人	6人	12人
なし	20人	17人	37人
計	27人	23人	50人

ハイツひまわり

回数	男	女	合計
30回以上	0人	0人	0人
20～29回	0人	0人	0人
10～19回	0人	1人	1人
5～9回	0人	2人	2人
1～4回	0人	0人	0人
なし	0人	0人	0人
計	0人	3人	3人

(9) 外泊状況

☆ 外泊回数

南幌めぐみ学園

回数	男	女	合計
30回以上	3人	0人	3人
20～29回	3人	1人	4人
10～19回	4人	3人	7人
5～9回	7人	2人	9人
1～4回	2人	7人	9人
なし	8人	10人	18人
計	27人	23人	50人

※ 最高外泊回数 56回

ハイツひまわり

回数	男	女	合計
30回以上	0人	0人	0人
20～29回	0人	0人	0人
10～19回	0人	0人	0人
5～9回	0人	0人	0人
1～4回	0人	3人	3人
なし	0人	0人	0人
計	0人	3人	3人

※ 最高外泊回数 4回

☆ 外泊期間

南幌めぐみ学園

日数	男	女	合計
41日以上	6人	2人	8人
31日～40日	2人	2人	4人
21日～30日	5人	2人	7人
11日～20日	4人	2人	6人
1日～10日	2人	5人	7人
なし	8人	10人	18人
計	27人	23人	50人

※ 合計宿泊数 991日

ハイツひまわり

日数	男	女	合計
41日以上	0人	0人	0人
31日～40日	0人	0人	0人
21日～30日	0人	0人	0人
11日～20日	0人	0人	0人
1日～10日	0人	3人	3人
なし	0人	0人	0人
計	0人	3人	3人

☆ 入院による外泊

南幌めぐみ学園

男性	A (男)	B (男)	C (男)	D (男)	計
入院回数	1回	1回	1回	回	3回
入院日数	15日	65日	14日	日	94日
主病	白内障	骨折	白内障		

女性	A (女)	B (女)	C (女)	D (女)	計
入院回数	1回	1回	1回	回	3回
入院日数	11日	15日	3日	日	29日
主病	S状結腸捻転	甲状腺	肺炎		

4. 短期入所・日中一時支援

(1) 短期入所利用状況

	平成 31年	令和 元年									令和 2年			合 計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
実人員	7 (4)	5 (4)	4 (4)	5 (3)	5 (6)	4 (6)	5 (5)	3 (5)	3 (6)	4 (4)	4 (3)	2 (6)	15 (9)	
延日数	92 (46)	85 (51)	65 (41)	77 (51)	66 (49)	41 (47)	40 (52)	62 (28)	41 (59)	47 (53)	57 (38)	38 (45)	711 (560)	

※ 下段 () は昨年度実績

(2) 日中一時支援利用状況

	平成 31年	令和 元年									令和 2年			合 計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
実人員	1 (2)	2 (2)	2 (1)	2 (2)	2 (2)	1 (1)	2 (3)	2 (1)	3 (1)	3 (2)	2 (0)	2 (1)	4 (7)	
延日数	6 (4)	8 (6)	7 (2)	10 (3)	5 (3)	2 (1)	4 (3)	3 (1)	16 (1)	8 (2)	12 (0)	25 (2)	106 (39)	

※ 下段 () は昨年度実績

(3) 短期入所・日中一時支援利用者市町村調

市町村 区 分	札幌市	江別市	千歳市	岩見沢市	北広島市	南幌町	長沼町	合 計
	短期入所	7 (1)	3 (2)	1 (1)	2 (4)	1 (0)	1 (1)	
日中一時支援	(0)	(1)	(1)	2 (3)	(1)	1 (0)	1 (1)	4 (7)
実人員	7 (0)	3 (3)	1 (2)	2 (5)	1 (1)	1 (2)	1 (0)	16 (13)

※ 下段 () は昨年度実績